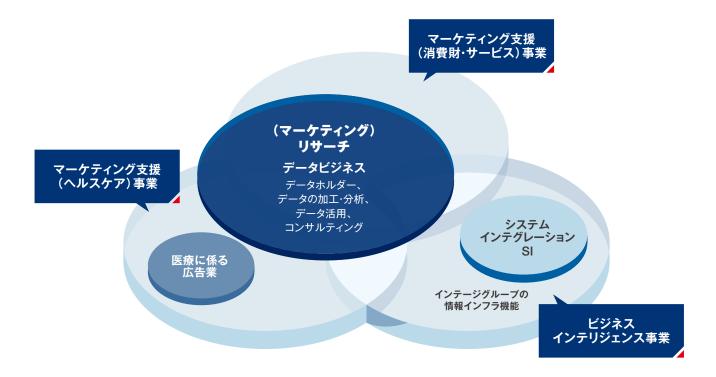
インテージグループの事業領域

概要

インテージグループは『マーケティング支援(消費財・サービス)事業』『マーケティング支援(ヘルスケア)事業』『ビジネスインテリジェンス事業』の3つのセグメントで構成されています。全てのセグメントにおいてリサーチならびにデータビジネスをコアとしながら、ヘルスケアにおいては広告業を、ビジネ

スインテリジェンスにおいてはシステムインテグレータならびにグループ全体の情報インフラを担う機能を持っています。各セグメントの強みを活かしつつ、セグメント間で連携することによりグループー体でお客様の課題解決を支援します。



基幹商品 パネル調査

パネル調査とは、一定数のモニター(消費者や店舗など)を確保し、モニターから定期的に情報を収集する仕組みを構築し、お客様にデータベースとして提供するサービスを指します。1960年の創業から続くインテージグループのパネル調査は、その種類、規模、品目の拡張や、速報性の向上な

ど度重なるリニューアル等を行い、現在でも当社グループの 大きな柱となっています。市場実態を正しく捉えたデータと して、お客様(当社グループでは主に消費財メーカー)から 高い信頼を得ており、デファクトスタンダードとしてマーケ ティングに活用されています。



全国消費者パネル調査

どんな世帯・個人が、何をどこで、いくらで買っているのか

全国の15~79歳の男女約5万人*を対象に、屋内外で消費する食品、飲料、日用雑貨品などの購買データをスマートフォンのアプリを利用して収集。消費者の購買行動を詳細に捉えた高品質なデータを基に、インサイトを提供する日本最大の消費者パネルです。



全国小売店パネル調査

いつ、どこで、どんなものが、いくらで売れているのか

スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ドラッグストア、専門店など全国の主要小売店約6,000店舗を対象に、食品、飲料、日用雑貨品、一般用医薬品などさまざまなPOSデータを収集。各業界標準のインデックスとして圧倒的な強さを誇っています。

※2025年1月より7万人に拡大予定



株式会社インテージを中心に、企業のあらゆるマーケティング課題に対して、有効な意思決定をサポートするための科学的な調査・分析企業のマーケティング活動をサポートしています。

主力商品の"パネル調査"は、当社が独自に収集した生活者の購買データや小売店の販売データを基に販売実態や購買実績を詳細に捉え、各業界の標準インテックスとして多くの消費財メーカーに導入されています。

"カスタムリサーチ"は、企業の特定の課題に合わせてパネルデータや様々な調査手法と独自の分析力をベースとしたインサイトを多種多様な業務のお客様に提供しています。



檜垣 歩 取締役 マーケティング支援 (消費財・サービス) 国内・海外事業担当





株式会社インテージへルスケアを中心に、製薬企業に対して、マーケティング活動のサポート、プロモーション、処方情報分析などを提供しています。

一般用医薬品に関し、薬局やドラッグストアなどの小売店データおよび購買履歴 を取得したパネル調査やカスタムリサーチを提供。また、医療用医薬品についても、 医師の薬物治療・処方実態調査、医療消費者の実態調査を始め、医薬品のプロモー

ション活動評価など豊富なソリューションやツールで製薬企業をサポートしています。

※CRO(医薬品開発業務受託機関)事業は2024年9月2日付でアルフレッサホールディングス株式会社へ事業譲渡されました

村井 啓太 上席執行役員 マーケティング支援 (ヘルスケア) 事業担当





ビジネス インテリジェンス事業

主なお客様

製薬企業/運輸/旅行、観光/出版/ その他(業種を問わない健康管理サービス の提供) 株式会社インテージテクノスフィアを中心に、システムの開発・運用、BPO、データセンター運用、業界別ソリューションを提供しています。

近年は長年データに関わるビジネスを行ってきた強みを活かして、企業のDX支援をAIやデータハンドリングによりサポートしています。

また、インテージグループ全体に対し、インフラ構築・運用・保守およびビジネス推進を支えるソフト領域での支援などIT面で支えています。



酒井 和子 執行役員 CIO、 ビジネスインテリジェンス 事業担当

